

この度は講習後のアンケートへのご協力ありがとうございました。
大変多くのご意見いただきありがとうございました。主催者、講師ともに感謝いたしております。
アンケートにいただいておりました質問への回答をさせていただきます。

<感想や質問がございましたらご記載ください。※ご質問は全て後日ホームページで回答します。>

- ・古い建物では一般診断法にしても非破壊検査で診断するのは難しいと感じます。実際の耐震診断および補強工事はどこまで実施しているのか、工事費用なども含めて実情を教えてくださいたいと思います。
→建物の性質及び特性を履歴や調査を通じて把握し、適切な診断方法を選ぶことも耐震診断業務の一部となります。その中で一般診断法には適さないという判断がなされる場合は、精密診断法Ⅰ及び精密診断法Ⅱへと診断精度の高いものを採用することになりその判断は診断者へ託されます。
工事費用の実情においては統計上のは建築防災協会や経済調査会の積算資料等にて公開されているものがございます。ただ、耐震補強工事を含む改修工事については劣化部位を適切に修繕する部分において建物毎に大幅に差が出ることから申し訳ありませんが費用実情の回答は控えさせていただきます。見積もりを取得して判断するというのが実情となるかと思えます。
余談になりますが今日の物価変動は非常に激しく4半期毎に価格が変わる現状にありますので工事費用につきましては十分に注意されることをお勧めいたします。
- ・P48に記載されている「グレー本」とはどのような本のことでしょうか。
→P49の表記とお見受けし回答いたします
「木造軸組み工法住宅の許容応力度設計①」（日本住宅・木材技術センター）となります。
※木造の簡易的構造計算（ルート1）の指針書となります。
- ・改めて良い勉強をさせていただきました。また購入可能な良いテキストがあれば教えていただけるとありがたいです。
→一般財団法人 日本建築防災協会 「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」
公益財団法人 日本住宅・木材技術センター 「木造軸組構法住宅の許容応力度設計」
横浜市建築局指導部建築指導課 既存住宅の耐震改修工事・施工マニュアル（ダウンロードのみ）
https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kenchiku/bosai/taishin/yoshiki/jigyousha-dl.files/0001_20181005.pdf
横浜市建築局企画部建築防災課 横浜市木造住宅耐震改修促進事業 申請の手引き（同上）
https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kenchiku/bosai/taishin/yoshiki/20170202132553.files/0250_20230328.pdf
- ・まだ、業務をしたことが無いので図面を使用した箇所が分かりにくかった。
→次回以降の開催内容の参考とさせていただきます。
準備ができ次第、今回受講の方には無償でのアーカイブ再受講が可能ですので復習を兼ねて視聴いただくと幸いです。

<次回以降の講習会のテーマのご希望がございましたらご記載ください。>

- ・同じテーマで良いが、「補強計画の進め方」にもっと時間を割いてほしい。そこが知りたい。(休憩後の内容は業務で役立つものでした)

→次回以降の開催内容の参考とさせていただきます。

- ・もっと基本的をお願いします。

→次回以降の開催内容の参考とさせていただきます。

<木造特別委員会へ期待する内容はありますか？>

- ・木造の構造設計事務所の公表・紹介などしていただけるとありがたいです。

→現在、神事協ではサポートセンターの設立を目指して準備しております。

その中においてご希望のサービスをご提供できるようご意見として上申させていただきます。

- ・web セミナーを数多く開催してほしい。

→次回以降の開催内容の参考とさせていただきます。

- ・木造文化の発展

→多くの建築物の選択肢の一つとなれるように建築士事務所の皆様と共に発展を目指して行きたいと考えております。